

第279回 番組審議会

1. 日 時 平成31年 2月12日 (火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F「星雲東の間」
3. 委 員 委員総数 8名
出席委員数 6名 (欠席委員数 2名)

○ 出席委員 (敬称略)

鈴木 厚人 (委員長)

砂子田 智 (副委員長)

—以下50音順—

石田 征広

菅原 正二

高橋 博昭

八木橋 伸之

○ 会社側出席者 (5名)

藤澤 利憲 (代表取締役社長)

小原 忍 (取締役副社長)

藤原 銀司 (常務取締役)

齋藤 秋水 (常務取締役)

工藤 浩 (取締役)

○ 事務局 佐々木 久仁子

4. 議 題 ①月曜ドラマ 『トレース～科捜研の男～』
平成31年 1月 7日(月) 21:00～22:24
②フジテレビの編成方針と1月改編の手応えについて等

現王園 佳正 様 (フジテレビジョン編成センター室長)

5. 議事概要

今回は、フジテレビジョン編成センター室長・現王園佳正様をお迎えし平成31年1月7日月曜日夜9時から放送した『トレース～科捜研の男』と『フジテレビの編成方針と1月改編の手応えについて』等を審議しました。議事の概要は、以下の通りです。

●フジテレビジョン編成センター室長・現王園佳正様からの説明

・月9(ゲツク)『トレース～科捜研の男～』は、月曜夜9時放送で1月から始まった連続ドラマ。原作は、漫画雑誌『月間コミックゼノン』で連載中の『トレース～科捜研法医研究員の追想～』で、作者の古賀慶さんは元科捜研出身という異色の経歴を持ち、その経験を生かしたリアルなストーリーが見どころになっている。

関東地区2月11日放送6話の視聴率は10.4%で、6話分の平均視聴率は11.0%と、最近連続ドラマの視聴率は下がっているが、2桁をキープしていることから好調なドラマと言える。

・フジテレビの月9は、1980年代から『東京ラブストーリー』、『101回目のプロポーズ』など視聴率20%を超えるドラマを出していて、木村拓哉さん主演の『HERO』や福山雅治さん主演の『ガリレオ』など映画化もされ、大ヒットした作品が数多くあった。しかし、2013年頃から少し低下をはじめ一時は1桁になることもあり不調が続いていたが、昨年7月クールの『絶対零度』、10月クールの織田裕二さん主演『SUITS』あたりから平均2桁の視聴率を取り、今の『トレース』も好調と言える数字をキープしている。

・ドラマの視聴率が昔より少し落ちている理由として、視聴者層と視聴スタイルの変化が挙げられる。20年前に比べて65歳以上・高齢層が占める割合が増えていて、それに加えてインターネット、スマホの普及などで若者のテレ

ビ離れが進んでいる。フジテレビの月9枠は、10代、20代の若いOLの支持を受けていたので、そういった人たちがテレビを見なくなってしまった現実もある。世帯視聴率を獲得する上では、母数の少ない若い視聴者層より高齢者層を狙う方が視聴率を取れるというのが、最近の連続ドラマの傾向である。さらにハードディスクによる録画視聴、インターネットによる見逃し配信で番組を見る視聴スタイルも根付いてきており、そこもドラマのリアルタイム視聴率低下の要因と考えられている。

- ・このような時代や環境の問題だけではなくフジテレビとして、環境の変化に番組の企画内容を合わせることができなかった。これまでの月9のイメージにとらわれて、若い世代を狙っていこうという思いが強い制作者も多く、企画やキャスティング面でクオリティがやや落ちてしまった。それを挽回しようと昨年から大人にも見ごたえのある本格的な作品にシフトし、徐々に視聴率が復活している。

- ・テレビを作る者としては、ネットやスマホに流れた人をテレビに引き戻さなければならぬ使命もあると思っている。昔は、一家に1台のテレビを家族で楽しんでいたが、今はそれぞれの部屋にテレビがあり、スマホやパソコンでもテレビが見られる。またインターネットでテレビ以外の動画コンテンツを楽しむ時代になった。テレビが皆に楽しんでもらえる番組とは何なのか、作りが難しくなっている。ただ、ビッグヒットは必ず生まれる。月9でビッグヒットとは何なのか、今後も追求していこうと思っている。

- ・「番組改編」とは、4月と10月に番組のタイムテーブルをリニューアルするタイミングのことで「4月改編」、「10月改編」と言っている。コマーシャルのセールスが、4月から9月、10月から3月という区切りなので、4月と10月に番組を入れ替えるというのがパターンとなって続いている。

- ・フジテレビでは、番組タイムテーブルを見直し、思い切って変えていこうと改革を行っている。視聴率が伸び悩んでいた長寿番組を終了し、新たな番組を投入した。1月からは日曜夜8時から『でんじろうのTHE実験』、日曜夜9時から『アオハル（青春）TV』をスタートさせた。また、4月から夕方ニュースはフジテレビ出身でフリーアナウンサーの加藤綾子さんをキャスターに抜擢し、より親しみやすい、より分かりやすい、明るいニュースにしていく方針。

【出席した委員からの意見】

- ・『トレース～科捜研の男～』は、月9ドラマを見て育った世代なので、懐かしく見た。虎丸刑事役の船越英一郎さんは強烈で、行き過ぎの部分もあるので、もう少し調整してほしいと思った。
- ・日本であのようなものを作っても、科捜研にしてもデカ長にしても匂いが本物になっていない。手を出さない方がいい。見るに堪えなかった。「進化する」「新しい」などと言っているが、何もそれに合致していない。もっと別のことを考えた方がいい。
- ・全ての層からコマーシャルを見てもらうことが必要なのか。住宅メーカーのコマーシャルであれば、30代から40代くらいの住宅を買いそうな人が見てくればいはずで、全部の層に受ける番組にしなくてもいいのではないか。
- ・「科捜研の女」というドラマがあるのに、なぜ「科捜研の男」というタイトルにしたのか。
- ・ニュースは、アナウンサーの実力が一番で、二番は視聴者が知りたいニュースを的確に放送すること。この2点がニュースの本質だと思う。ニュースを変える際は、ここをしっかりとって頂きたい。
- ・『バイキング』の坂上忍さんは、多分、正しいことを言っているのだろう。だから皆さん見ているのだろうが、傷つく人もいると思う。
- ・『トレース～科捜研の男～』は、とても楽しい番組だと思って、ずっと見ている。原作のコミックも購入し、それと比較しながら見ている。
- ・原作のサブタイトル「科捜研法医研究員の追想」の方が、分かりやすくよかったのではないか。
- ・『東京ラブストーリー』以来、30年ぶりくらいに月9を見た。
- ・テレビの見方が昔と変わってきている。リアルタイム性というのを時間ごとに誰に向かって訴求するのか、結構大事だと思っている。難しい時代だが、期

待している。

・「すべての可能性を追求せよ」「真実のかけらを、それを見つけるのが科捜研の仕事だ」という言葉が良かった。これは学生に言いたいことそのままだった。

・若年層がテレビ離れしているのであれば、若年層に向けて何かやればいいのではないか。例えばテレビ番組作りコンテストをやるとか、若年層を引き付ける試みがあってもいいと思う。

・改編の時に『プライムニュース』の反町理さんをBSのニュースに戻してもらいたい。あれだけ時間をかけて、じっくり解説してくれるニュースがなくなった。ぜひ、残してほしい。

●委員からの質問、意見に対する現王園室長からの回答

・虎丸刑事に関しては、社内からも視聴者からも「ちょっと大きめで、あれはちょっとやり過ぎでは」という意見があり、4話くらいから、少し演出に修正をかけている。

・『バイキング』の坂上忍さんについて、「言い過ぎじゃないか」との声もあるが、本音の部分を書いてくれることで人気のある番組だ。塩梅が難しいが、制作者はそこを工夫しながら、やっている。

・番組の作り方も「この層を狙った番組を作る」というように変わっていくだろう。今が過度期で、昔のものと今のものが混在する時代で、試行錯誤しながら、悩みながら作っているところだ。

・『科捜研の男』というサブタイトルは、『科捜研の女』を意識してつけたわけではない。そもそも、『科捜研の男』という番組を作ろうと思った訳ではなく、『トレース』という原作のドラマを作りたいというところから入って、『トレース』だけだと何の番組なのか分からない、サブタイトルをつけよう、しかし、原作のサブタイトルは、11文字と長い。シンプルにしたいという発想から『科捜研の男』にした。

・若年層向けの番組は、我々が作らなければいけないとあって、1月からスタートした『アオハル(青春)TV』は、若年層を意識した番組。若者をター

ゲットにテレビ番組を作り、多くの人に見てもらおうという作業は並大抵のことではない時代だが、そこは諦めないでいきたいと思うし、若者も歳をとっていくわけで、そういったものに向けての発信をテレビが閉ざしてしまったら、テレビは昔のメディアになってしまう。歯を食いしばり、決して諦めずにやっていきたいと思っている。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置

特になし

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

※平成31年2月14日（木）産経新聞 東北版

※平成31年2月23日（土）午前4時12分から4時15分まで「めんこいテレビ番審リポート」として放送

※据え置き書類を作成し、本社受付、各支社に備置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

8. その他の参考事項

特になし

次回は、平成31年3月12日（火）12時より「星雲東の間」にて開催予定です。